

鮎貝まちづくり事業調査特別委員会

12月6日に本特別委員会が開催され、当局から、鮎貝土地区画整理事業の残保留地17区画は、白鷹町土地開発公社に維持保全や販売管理を委託し、現在2区画が販売に向けて交渉中であること、調整池の整備では、平成25年11月18日に入札を行い、平成26年3月20日を工期に工事を進めており、工事の事業規模は底盤の舗装2990㎡との説明を受けました。

委員からの、福祉用地の管理、将来的使用計画や若者定住促進のための販売はどうかとの問いに、「雑草が繁茂しないよう管理する。広場としての使用を検討しているが結論は出ていない。販売促進と住宅政策を併せて検討しているが、若者定

住促進のための利用、町営住宅の建て替えなども課題となっている。」との答弁がありました。また、本特別委員会の今後の展開を話し合った結果、鮎貝土地区画整理組合は解散したが課題は残っていると、本特別委員会を平成27年3月まで継続することにしました。



町営住宅建て替えは

大規模養豚場悪臭問題特別委員会

12月6日に特別委員会が開催され、大規模養豚場の状況について当局から説明がありました。施設内の清掃は浄化槽を中心に行われてきており、終了次第に畜舎内の清掃に移行して、概ね1月中を目途に豚を導入していく予定とのことでした。

環境整備については、雨水排水用の分離層の設置や場内排水路の改修が行われているとのこと、糞尿の水分量を下げること、リセルバシステムの導入や堆肥化処理時の臭気軽減に密閉型の縦型コンポストの導入が予定されているとのことでした。また、地域の良好な環境づくりと農業を基幹とする産業の振興をはかるため、地域と事業者と行政の3者による話し合いの場として（仮称）東根環境保全会議を新た

に設立することになっており、新事業者と地域住民と町の信頼関係を構築して、互いに良好な関係のなかで産業振興や生活環境の改善がはかられるよう継続して取り組んでいくとの説明でした。



豚舎全景